

「学校教科書」は家庭に持ち帰り、予習・復習・定着・定期試験対策、3大検定対策、入試対策に活用しよう。
「学校教科書」は、学校を卒業後も、きちんと保存、社会に出てからも、一生かけて、学び続けよう!!

開倫塾
塾長 林明夫

Q：学校教科書は、学校に置いてこないで、家に持って帰った方がよいのですか。それはなぜですか。

A：(1)学校教科書が大型化し、重さが増したためか、家に持って帰らず、学校に置いて来ることが多いようです。しかし、それでは、家庭で「予習」「復習」「定着」「定期試験の勉強」が十分にできないからです。



(2)全部の教科書を家に持って帰るのが大変であれば、よく計画を立て、家庭学習をする教科だけでも教科書を家に持って帰ることを、おすすめします。

(3)開倫塾でも「学校教科書」を使用しますので、開倫塾の授業がある日は、必ず、学校教科書を家に持って帰るようお願いします。

Q：具体的には、どうしたらよいのですか。

A：(1)一番よいのは、全部の教科書を家に置いておき、その日に授業のある教科だけ、学校に教科書を持っていくことです。

(2)全部の教科書をカバンの中に入れると、重くて学校に持っていけなくなり、その結果、学校に全部の教科書を置いて帰ることになります。

(3)家に、学校教科書を置いておく場所を決め、その日の時間割に合わせ、学校教科書をカバンの中に入れる「習慣」を身に着けることをおすすめします。

○できれば、その日の朝ではなく、前の日のうちに、翌日の時間割に合わせ、教科書などをカバンに入れることを「習慣」としてくださいね。



Q：「学校の教科書」はそんなに大切なのですか。そもそも、学校で学ぶ教科は、役に立つのですか。

A：(1)学校で学ぶすべての教科のすべての内容は、すべて役に立ちます。

①各学年で学ぶ内容は、次の学年で役に立ちます。

②中学校で学ぶ内容は、高校ですべて役に立ちます。

③高校で学ぶ内容は、大学・短期大学・専門学校・専修学校・大学院ですべて役に立ちます。



(2)①中学・高校・大学などで学ぶ内容は、学校卒業後、「仕事」をしたり、「社会的活動」をしたり、「日常生活」をするときに、更には、「よく生きる」ためにすべて役に立ちます。

②役に立たないことは、何一つありません。

(3)学校で学ぶことはすべて役に立ちます。ですから、大切なことは、「学校の教科書」、地図帳、年表、授業ノートなどは、絶対に捨てないこと。特に「学校教科書」は、きちんと整理し、同じ場所に置いておくことです。

(4)そして、折に触れて学び直すこと、学校教科書は、死ぬまで学び直すことです。

(5)なぜか。使いこなした「学校教科書」や「授業ノート」が手元があれば、学校で学んだことを、すぐに思い出すことができるからです。「学校教科書」や「授業ノート」が手元にないと、学校で学んだことを思い出すのが難しいからです。

Q:「学校教科書」を活用し、どのように勉強したらよいのですか。

A:「予習」「復習」「定着」「定期試験対策」「入学試験対策」「国家試験・就職試験対策」で、大いに「学校教科書」をご活用ください。



(1)①たとえ短い時間でも、毎回の授業前に「予習」を行い、これからの授業で、どのようなことを学ぶのかを、授業の前に知っておくことは、授業への関心を高め、授業内容を「理解」するうえで、とても役に立ちます。

②一番よいのは、学校の教科書が配られたその日からどんどん予習を行い、GW(ゴールデンウィーク)が終わるころまでに、各教科の教科書の半分以上を予習してしまうことです。夏休みの終わりまでに、教科書の最後まで予習することです。そのうえで、毎週、次の週の予習を行うことをおすすめします。

③予習のポイントは、「何がわからないかを、はっきりさせてから授業に臨む」ことです。

④教科書を声を出し読むこと、難しい語句は意味調べや、書き取り練習をすること、計算や問題はノートに解いてみるなどが、予習としておすすめです。

⑤大切な語句(用語)や考えなどは、ノートに書き写しておくことも、素晴らしい予習です。



(2)①「復習」のときに一番役立つのが「学校教科書」です。

②その日の授業を思い出し、ていねいに、一語、一語、教科書の内容を「理解」する。これはどのようなことだろうと考えながら、「学校教科書」をじっくり読む。

④地名が出てきたら、地図帳でその場所を確かめる。年代が出てきたら、「歴史年表」でその年を確かめるのも、素晴らしい復習です。

⑤授業中に解いた計算や問題は、もう一度解き直す。これが復習です。

⑥「復習」も目標は、「深い理解」つまり、「学んだことを、自分のことばでいえる(表現・説明できる)」までにすることです。

(3)①全教科の「学校教科書」を用いた「定着」、「理解できたことを身に着ける」ことも、「学んだことを、自分のことばでいえる(表現・説明できる)」のために、欠かせません。

②「音読練習(暗唱)」「書き取り練習(暗記・暗写)」「計算・問題練習」が「定着」には役立ちます。

③これを「定着のための3大練習」と開倫塾では呼びます。「定着のための3大練習は不可能を可能にします」

(4)①「学年末試験」「3大検定」「入試」対策にも、「学校教科書」は欠かせません。

②「学校教科書」なくして、すべての試験対策なしです。

③就職試験・国家試験・昇進試験などあらゆる試験にも、「学校教科書」は有用です。

Q：最後に一言どうぞ。

A：(1)「学校教科書」は、学校時代のみならず、社会に出てからも、死ぬまで役立つ大切なものです。



(2)「学校教科書」が「大型化」して、持ち運びに不便かもしれませんが、できるだけ家庭に持ち帰り、また、開倫塾にも持参し、大いにご活用ください。学校卒業後も役に立ちます。

(3)①2025年度は、中学校の学校教科書が大幅に改定され、更に充実します

②そこで、開倫塾では、今までにも増して、「学校教科書を大切にする塾」を目指します。

③2025年からは、「学校教科書」をさらに活用し、開倫塾「塾生目標(I)(II)(III)」の実現を、みんなで目指してまいりましょう。

— 2024年12月16日記 —